

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公開番号】特開 2020-62235 (P2020-62235A)

【公開日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-016

【出願番号】特願 2018-196351 (P2018-196351)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 17 日 (2020.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、
音声データを出力可能な音声データ出力手段と、
前記音声データ出力手段によって出力された音声データに応じた音を出力可能な音出力手段と、
を備え、

前記音出力手段は、

所定音を出力可能であり、

前記特定演出において、第 1 音を出力し、当該第 1 音の出力から所定期間が経過したときに第 2 音の出力を開始可能であり、

少なくとも前記第 1 音が出力されているときと、前記第 2 音が出力されているときと、
において前記所定音の出力を制限可能であり、

前記音声データ出力手段は、

前記所定期間に特殊音を示す音声データを出力可能であり、

前記第 1 音が出力されている期間に前記特殊音を示す音声データを出力せず、

前記第 2 音が出力されている期間に前記特殊音を示す音声データを出力せず、

前記特殊音を示す音声データが前記音声データ出力手段によって出力されているときに、
前記音出力手段は前記所定音の出力を制限可能である、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

音声データを出力可能な音声データ出力手段と、

前記音声データ出力手段によって出力された音声データに応じた音を出力可能な音出力手段と、

を備え、

前記音出力手段は、

所定音を出力可能であり、

前記特定演出において、第 1 音を出力し、当該第 1 音の出力から所定期間が経過したときに第 2 音の出力を開始可能であり、

少なくとも前記第 1 音が出力されているときと、前記第 2 音が出力されているときと、において前記所定音の出力を制限可能であり、

前記音声データ出力手段は、

前記所定期間に特殊音を示す音声データを出力可能であり、

前記第 1 音が出力されている期間に前記特殊音を示す音声データを出力せず、

前記第 2 音が出力されている期間に前記特殊音を示す音声データを出力せず、

前記特殊音を示す音声データが前記音声データ出力手段によって出力されているときに、前記音出力手段は前記所定音の出力を制限可能である、

ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、

特定演出（例えばセリフ予告演出など）を実行可能な特定演出実行手段（例えば演出制御用 CPU 120 など）と、

音声データを出力可能な音声データ出力手段（例えば音声制御基板 13 など）と、

前記音声データ出力手段によって出力された音声データに応じた音を出力可能な音出力手段（例えばスピーカ 8 L、8 R など）と、

を備え、

前記音出力手段は、

所定音（例えば BGM 音声など）を出力可能であり（例えば図 8 - 1、8 - 2、8 - 5、8 - 8 など）、

前記特定演出において、第 1 音（例えば第 1 セリフ音声など）を出力し、当該第 1 音の出力から所定期間（例えば空白期間など）が経過したときに第 2 音（例えば第 2 セリフ音声など）の出力を開始可能であり（例えば図 8 - 2、8 - 5、8 - 8 など）、

少なくとも前記第 1 音が出力されているときと、前記第 2 音が出力されているときと、において前記所定音の出力を制限可能であり（例えば図 8 - 2、8 - 4、8 - 5、8 - 8 など）、

前記音声データ出力手段は、前記所定期間に特殊音（例えばダミー音声など）を示す音声データを出力可能であり（例えば図 8 - 5、8 - 8 など）、

前記特殊音を示す音声データが前記音声データ出力手段によって出力されているときに、前記音出力手段は前記所定音の出力を制限可能である（例えば図 8 - 4、8 - 5、8 - 8 など）、

ことを特徴とする。

このような構成によれば、第 1 音が出力されているときと、第 2 音が出力されているときと、において所定音の出力を制限すると共に、第 1 音の出力が終了してから第 2 音の出力が開始されるまでの所定期間において所定音の出力を制限し、所定音によって特定演出の演出効果が損なわれてしまうことを抑制して遊技興趣の低下を抑制できる。